平成２９年度第２回

昭島市国民健康保険運営協議会議事録要旨

平成２９年７月１４日

保 健 福 祉 部 保 険 年 金 課

平成２９年度第２回昭島市国民健康保険運営協議会

平成29年７月14日（金）午後１時30分開会

昭　島　市　役　所　　庁　議　室

１．開　　会

２．議　　題

（１）昭島市国民健康保険運営協議会会長及び副会長の選出

会長 佐藤委員・副会長　・野委員に決定

３．協議事項

（１）昭島市健康づくり推進協議会委員の推薦　承　認

４．報告事項

（１）平成28年度昭島市国民健康保険特別会計決算の状況

５．その他

出席委員（９名）

佐　藤　三　也　委員	髙　野　照　夫　委員	石　原　正　昭　委員
山　川　博　生　委員	五　藤　英　恵　委員	山　本　荘太郎　委員
久　保　　舞　委員	中　田　京　子　委員	岸　野　康　夫　委員

説明者

保健福祉部長　佐藤　一夫、保険年金課長　岡本　由紀子、

保険年金課保険係長　山本　潤、保険年金課賦課担当係長　山梨　智恵子、

保険年金課広域化担当係長　中本　崇、保険年金課保険係主事　輿石　悠太

（午後　１時３０分）

◎開　　会

○事務局　それでは皆様、時間となりましたので、運営協議会を始めさせていただきたいと思います。

本日は、ご多忙のところ、そしてお暑い中、昭島市国民健康保険運営協議会にご出席いただきましてまことにありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

◎委嘱状伝達

◎自己紹介（各委員、事務局）

◎議　　題

（１）昭島市国民健康保険運営協議会会長及び副会長の選出

○事務局　それでは、日程に従いまして、議事を進めてまいりたいと思います。

最初に議題の１、本協議会の会長と副会長の選任をお願いするわけでございますが、この選任のための仮の議長は保健福祉部長が務めさせていただきます。

○保健福祉部長　それでは、正副会長を選任されるまでの間、議長役を、仮議長ということで務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

昭島市国民健康保険運営協議会の会長及び副会長の選任につきましては、そこの選任方法について定めた法令と従来からの経過等を、事務局からまず説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○事務局　それではお手元の参考資料１をご覧いただきたいと思います。

こちらは昭島市国民健康保険運営協議会について定めた法令でございますが、国民健康保険法施行令の第５条に選挙方法が規定されておりまして、その第１項では、協議会に会長を１人置き、公益を代表する委員のうちから全委員がこれを選挙するという規定になっております。また第２項におきまして、会長の職務を代行する職といたしまして、代行職、すなわち副会長を選挙することとなっております。

次に、選任の経過でございますが、これまでの慣例を申し上げますと、まず公益代表委員の皆様のご協議によりまして、会長並びに副会長となられる委員の方のご推薦をいただきまして、その方を全委員でご承認をいただくという方法をとらせていただいております。

大変簡略な説明で恐縮に存じますが、よろしくお願いいたします。

○保健福祉部長　それでは、法令とこれまでの選任の経過について説明がございました。そこ

で、お諮りをさせていただきます。これまでどおり、公益代表委員のうちから推薦をお願いするという形で会長及び副会長を選任していきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○保健福祉部長　よろしいですか。ご異議なしということでございます。そのようにお取り計らいをさせていただきます。

それでは、公益代表委員の皆様には、恐れ入りますが、別室をご用意してございますのでそちらでご協議いただくといたしまして、その間暫時休憩をさせていただきます。よろしくお願いをいたします。

（休憩）

○保健福祉部長　それでは、休憩前に引き続きまして会議を再開させていただきたいと思います。

ただいま公益代表委員の皆さんにご協議をしていただいた結果、会長に佐藤三也委員、副会長に髙野照夫委員をご推薦いただきました。会長並びに副会長につきましては、ただいまのご推薦のとおり選任いたしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○保健福祉部長　ありがとうございます。ご異議なしと認め、昭島市国民健康保険運営協議会の会長に佐藤三也委員、副会長に髙野照夫委員がご就任いただくことに決定いたしました。

それでは、正副会長さんにはそれぞれ正副会長席にお移りいただきまして、それぞれ就任の挨拶をお願いしたいと思います。

◎会長挨拶

◎副会長挨拶

○保健福祉部長　どうもありがとうございました。

これをもちまして、仮議長役を解かせていただきます。皆様方のご協力をまことに感謝申し上げます。

それでは、これからの運営は、佐藤会長のほうによろしくお願いをいたします。

◎会議録署名委員の指名

◎協議事項

（１）昭島市健康づくり推進協議会委員の推薦

○会長　それでは、協議事項に入らせていただきます。

協議事項、昭島市健康づくり推進協議会委員の推薦について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局　それでは、昭島市健康づくり推進協議会委員の推薦につきましてご説明いたします。

お手元の参考資料２、昭島市健康づくり推進協議会要綱をご覧いただきたいと思います。

昭島市健康づくり推進協議会は、市民の健康の保持、増進を図ることを目的といたしまして、昭和60年に設置された協議会でございます。所管は健康課が担当しております。

この協議会は、立川保健所、昭島市医師会、歯科医師会、薬剤師会を初めとする13の団体等から、それぞれ１名ずつ推薦された委員によって構成されております。昭島市国民健康保険運営協議会からは１名の委員さんにご参画いただくこととなっております。

従来からの慣例といたしまして、歴代の会長さんがこの健康づくり推進協議会にご参加をいただいているところでございます。つきましては、昭島市健康推進協議会の委員の推薦につきましてよろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○会長　ただいま事務局が説明ありました健康づくり推進協議会委員に、本運営協議会会長を推薦したいと存じますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○会長　ありがとうございます。それでは、本運営協議会会長を健康づくり推進協議会委員に推薦することといたします。よろしくお願いいたします。

◎報告事項

（１）平成28年度昭島市国民健康保険特別会計決算の状況

○会長　次に報告事項に入らせていただきます。

報告事項、平成28年度昭島市国民健康保険特別会計決算の状況について、事務局のほうからよろしくお願いします。

○事務局　それでは、報告事項の平成28年度昭島市国民健康保険特別会計決算の状況についてご説明いたします。

＜資料１、“平成28年度国民健康保険特別会計決算見込み”に基づき説明＞

決算額でございますが、９月議会に上程いたしますので、現時点では見込みとさせていただきますが、歳入総額は138億7,991万7,000円、歳出総額は135億942万6,000円で、歳入歳出の差し引きでは、３億7,049万1,000円の歳入超過となっております。前年度繰越金１億

9,759万7,000円を差し引いた単年度収支では、１億7,289万4,000円の黒字となっております。歳入超過の要因といたしましては、歳入は国民健康保険税収入の増加によるもの、歳出は被保険者数の減による保険給付費や後期高齢者支援金等の減などによるものでございます。

（中略）

以上、簡略な説明でございますが、よろしくお願いいたします。

なお、右上に参考とあります資料は、平成29年度当初予算と、ただいまご報告させていただきました28年度の決算見込みの数値を比較したものでございますので、参考までにご高覧いただければと存じます。

以上でございます。

○会長　どうぞ。

○事務局　すみません、ただいまの決算見込みの報告に一部補足をさせていただきます。

＜資料２、“国民健康保険の状況”を用いて補足＞

こちらは国民健康保険加入者の人数と、それから保険税の収納状況でございます。加入者の方の状況でございますが、こちら年齢構成の比較のために、決算時ではなく、年末の状況を使っておりますが、こちらのほう、人数は27年度から28年度にかけましても大分減ってきております。現在、28年度も終わりまして、29年度ですと、もう２万7,000人台に実際なっているところでございます。

今後、加入者の方全体の人数がどのぐらい減っていくのかというのは、ちょっとなかなか予想がつかないところなんですが、国保に加入をされている方の年齢構成の部分につきましては、60歳以下の方が少しずつ割合として減ってきて、60歳以上の方の部分が増えていくという内容については、今後も変わらないものと予想しております。

また、保険税のほうでございますが、前回の前期最後の協議会のときに、３月末の収納の数字をご報告させていただきましたが、その時点では前年度の同時期よりも低い数字となっておりました。ただ、決算までいきましたところで、28年度につきましては収納率、大変いい数字となりましたので、こちらの影響もあって、今回は決算の保険税の数値が少し金額よくなったものと認識しております。

大変簡単ですが、以上でございます。

○会長　ただいま事務局から説明がありました。質問またはご意見がございましたら、お受けいたします。よろしくお願いします。

Ａ委員。

○Ａ委員　１点、お尋ねしたいのですけれども。27年度では、１人当たりの医療費が31万6,258円というかなり高い数字になっていたんですけれども、28年度はどのくらい、１人当たりは。

○事務局　28年度も若干なんですが、ここよりも増えている状況でございます。医療費、まだ内容を詳しく精査していないんですが、医療費そのものの枠としては、金額が小さくなっておりますが、１人当たりで割り算をしますと、医療費全体ではなくて、保険給付費として出した部分になりますけれども、ここが大体26万円台で推移してきたんですが、それが27年度のときが大体26万4,000、5,000円くらいだったのが、今回は多分26万7,000円台ぐらいにいきそうなところでございます。

○会長　ほかに何かご質問ありませんか。

○Ｂ委員　今日いただいた資料の収納率がすごくよくなっているので、いろいろ努力されたんだと思うんですけれども、毎回申し上げるんですが、ぜひ来年度の予算が同じように積算されるのであれば、収入割合を92％から少しでも上乗せして、92.5とか93、厳しいかもしれませんですけれども、その辺を底上げしていただかないと、市のほうは、楽にという言い方は失礼かもしれませんけれども、楽に積算してそれを上回る保険税が入ればそれでいいんだということではなくて、やはりそこは現年分も含めて努力をされるということを片方で示さないと、やっぱり片方で保険税を改定して上げるということはやるわけですから、その辺の努力も１つ、ちょっともう何回も言っていて、ちょっと私もどうかなと思うんだけれども、ぜひその辺はご検討いただきたいなと思っていますので、財政がどういうのか、もうちょっとその辺もはっきり含めて、同じ92％でいくのであれば、もう少しはっきりした理由をお示しいただかないと、ちょっとなかなか私なんかも厳しいなと思っていますけれども、よろしくお願いします。

○事務局　収納率もおっしゃるとおりの部分もございます。我々も一生懸命頑張っていますけれども、財政当局や収納担当のところとも調整をさせていただきました。なかなか想定の収納率、変えるというところまでは至らなかったということでございます。

　ただここで、広域化になりますと、東京都のほうから、想定の収納率が示されるということになります。そうした場合は、そういった数値をもとに検討していくということになるのかなというふうに考えているところでございます。ただいまのご意見をしっかりと受けとめながら、そういった形で検討していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○Ａ委員　関連して、いいですか。収納率が随分、その28年度、27年度、前年から比べるとか

なり、全体的にも1.2％伸びているということなので、1.2％伸びるというのは大変なことだったと思うんですけれども、どういうことが考えられる、かなり努力されてきて、今まで前年と違うような徴収というか、してきたんでしょうか。

○事務局　収納のほうの実務は納税課のほうがメインでやっているんですけれども、もちろんこれまで続けてきたものも引き続き行っています。まず、なかなか納期限を過ぎてもお納めいただけない方については、督促状などの郵便のほかに、電話催告というのをシルバー人材センターの方にお願いしたりして、全部電話をまずかけています。あと職員のほうも直接お宅に伺って訪問徴収というようなこともやっております。

　あとは、なかなかこれ、結構いろいろ大変なことなんですけれども、資産がある程度あるにもかかわらず納めていただけない方については財産調査をして、差し押さえなども随分積極的にやってもらっているというのはあると思います。

○Ａ委員　わかりました。

○会長　ほかにございませんでしょうか。どうぞ。

○Ｃ委員　１つ意見だけ。先ほどＢ委員が、毎回収納状況のこと言っていると言いましたけれども、私も毎回保健事業のことを言っておりまして、保健事業費、決算見込みが１億1,600万円になりましたが、これに対して、参考とある29年度予算では１億3,400億、その差1,500、1,600万円くらい。この枠を増やしているというのは大変いいことなので、ぜひ予算執行率を高めていただくよう、これは健康課のほうが中心のお話かもしれませんが、ぜひお願いしたいなと思っております。

　以上でございます。

○事務局　保健事業につきましては、後ほどご報告しようと思っていたところなんですが、特定健診、健診のほうは引き続き医師会にお願いをしておりまして、地元のクリニック、病院のほうで健診を受けられるような形を今年度もとっています。検査の結果、ある程度ちょっと数値が高い方、一定の数値以上の方には保健指導をということが決まっております。

　昭島市の場合は、健診を受けていただいている方の割合が近在の市と比べてもよかったんですが、保健指導のほうがなかなか受診、利用率が伸びないというところがネックになっておりました。今年度、初めて保健指導につきまして、今までお医者様がかかわってくださって大変昭島は手厚いといいますか、レベルの高い内容だったのですが、実はお医者様でなくても、栄養士さんですとか保健師さんでも保健指導というのはやっていただけるというルールがございまして、そういったところを考えまして、今、民間の専門の会社がございますの

で、今年度民間の会社に初めて委託をいたしました。

まだ、明日までが健診のほうの前期ですので、その後、また前期の保健指導と始まっていくところなんですが、なるべくたくさんの方にご利用いただければ、当然その部分費用も必要になってまいりますので、今年度といたしましては、たくさんの方にご利用いただきたいというところがあって、予算のほうはこのような形をとっております。

○会長　ほかにございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○会長　特になければ、次に移らせていただきます。

◎その他

○会長　その他につきまして、事務局から何かございますでしょうか。

○事務局　１点だけ、皆様方にご報告というか、ご連絡をさせていただきます。

本来なら、この時点には、東京都のほうからある程度標準税率等がお示しをされて、それに基づいた議論をお願いする時期に来ております。しかしながら、なかなか東京都のほうから公式に数字が発表されておりません。今月は市長会あるいは区長会で一定の情報は出していただけるという話もあったんですが、最終的にはそこでも数字は出てこないというお話でございます。何分、国のほうが、いろいろと条件を変えたりしておりまして、東京都としてもなかなか出しづらいという状況は、理解はするところでございますが、しかしながら、自治体にとって、数字が出てこないと検討のしようがないという状況でございます。

機会を通じて、東京都には強く要望しているところでございますけれども、東京都からのご回答では、８月にもう１回最終的に試算をして、その結果を９月にご提供したいというようなお話でございました。そうすると、かなりタイトな間隔で、皆様方に来年度の、どのような形で運営していくのかについてご議論いただくような形になろうかと思います。当然、短い期間の中で何回かお集まりいただくようなことも想定されるところでございます。

なるべくご負担のないように、情報は常に我々の手元に届いた時点で皆様方にご提供してまいりたいと考えているところでございますけれども、ぜひともそういった形で、なかなかタイトな状況であるということをご理解いただきまして、よろしくお願いしたいと思います。

私からは以上でございます。

○会長　ほかに。どうぞ。

○事務局　今後につきましては、今、申し上げたとおりなんですが、本日お机のほうに資料と

ともに配らせていただいたものを、簡単ですがご説明をさせていただきたいと思います。

＜東京オリンピック及び「あきしまの水」ブランディング啓発物品の紹介＞

私のほうからは以上です。

○会長　ほかに何かございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○会長　それでは、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。大変ありがとうございました。

◎閉　　会